



黒高だより 嶺光

〈校訓〉 公正・友愛・開拓

〒981-3685 宮城県黒川郡大和町吉岡字東柴崎62

TEL(022)345-2171(代) FAX(022)345-2172

御挨拶

教頭 山田昌弘

黒川郡及び近隣地域にお住まいの皆様には、平素より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。また、地元企業・公的機関の皆様には、生徒の就業体験受け入れや就業前企業見学、地域の橋梁点検指導等の支援（環境技術科）、「総合的な探究の時間」での町職員インタビュー（普通科）など、様々な場で多大なる御指導と御協力をいただき併せて御礼申し上げます。

県内でも有数の伝統校である本校は創立120周年を迎え、10月15日に記念の式典を行いました。当日は「了美ワイナリー」の代表取締役であり地域の発展に大きく貢献していらっしゃる早坂了悦様（本校農業土木科卒業生）を講師として「地域とともに」と題した記念講演をいただきました。このような節目の式典が開催できたのも、ひとえにこれまで長年にわたり本校を支えていただいた地域の皆様の御支援のおかげであり、深く感謝申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルス感染症によりさまざまな学習活動や行事が制限されておりましたが、国内での感染者減少にともない校内も落ち着きを取り戻して学校生活を送っております。9月には感染拡大防止のための対策として分散登校やオンライン授業の試行などが行われましたが、10月には一般公開こそなかったものの、2年ぶりに「黒高祭」が行われました。文化部や有志団体、クラス単位での発表など、生徒が生き生きと個性を發揮した2日間でした。また、部活動の練習や対外試合・コンクールなどもほぼ通常通りに開催されるようになり、多くの部で生徒は活躍しております。

黒川高校は「公正」「友愛」「開拓」の精神を胸に、これからも地域に愛され信頼される学校づくりに励み、地域に貢献できる有為な人材の育成をめざして日々学習活動を進めて参ります。今後とも変わらぬお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

進路指導部の取り組み

進路指導部長 羽賀 潔

地域の皆様には、日頃より本校生徒の進路活動に多大な御理解と御協力を賜っておりますことに、感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス禍2年目での3年生223名の進路先決定への取り組みですが、進学に関しましては、年々専門学校志望が多くなっているものの、大学・短大については例年と余り変わりません。

就職については、1回目の合格率が78%と厳しい状態でしたが、2回目受験者を含めて11/5時点で希望者の85%に内定をいただいております。いつもながら、地域の多くの企業様の支えがあればこそです。これから2回目に挑む十数名については、いっそう準備をしっかりと整えて臨ませたいと思います。これからも地域の皆様におかれましては今後もお力添えのほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

最近殊に感じるのは、「最初が肝心」ということです。中学生から高校生になる、その1年目に将来への意識をどれだけ持たせるかということなのです。やはり、入学当初に「将来どのように地域・宮城県・東北・日本国・世界のために尽くす人間になるのか」ということを考えさせることが大事なのではないのでしょうか。現在も1・2年生については、地域の仕事、業種、職種の学習、インターンシップ、企業見学等の体験等、様々な形での進路学習を行っております。しかし、その根底に「この地域でどのように働いて、どうやってこの世に貢献していけるのか」といった志が必要です。「意識を持たせる」ことを大切に日々の進路指導を進めて参りたいと思います。この件に関しましても、お忙しい中にもかかわらず地域の企業様にも御協力いただきありがとうございます。今後、3年間の見通しをしっかりと意識させて取り組んでまいります。

今後とも、黒川高校生の進路実現に向けて皆様の御協力を賜りたく、お願い申し上げます。



創立120周年記念行事

10月15日（金）に本校の創立120周年記念行事が体育館で行われました。感染症予防のため一部教室でのリモート開催となりましたが、長い歴史の節目として同窓会・PTAの代表の方々に御臨席いただき開催することができました。

本校は、明治34年に奥州街道吉岡宿として栄えた現在の黒川郡大和町吉岡に黒川農学校として開校しました。地域社会に人材を送り出す拠点校としての役割を担ってきたことから、この地域では三代にわたり本校に通学したという家族も珍しくないと伺っています。

今年の3月に行われた卒業式においては、記念すべき二万人目となる卒業生を輩出することができました。

記念式典における式辞の中で校長より、同窓会から在校生のために記念事業として部活動への助成や同窓会館のリフォーム等、多くの御支援をいただいたことの紹介がありました。同窓生の皆様、御支援ありがとうございました。



生徒代表の言葉では、生徒会長2年 鶉橋 ゆきのさんから、諸先輩方が築いてきた120年の黒高の伝統を守り、後輩に引き継ぐとともに、時代に即した新たな形の黒高を作るため邁進する誓いのメッセージが伝えられました。

記念式典の後には、早坂 了悦 様（本校農業土木科53年卒業、株式会社みらいファームやまと/了美ヴィンヤード&ワイナリー 代表取締役）を講師に迎えた記念講演が行われました。早坂様は県内で様々な事業を展開されている事業家で、この地域の発展にも大きく貢献されている先輩です。20年前にも本校で講演をしていただきました。今回は「地域とともに」という演題で、本校生徒に向けて人生の目的を早く見つけてその実現に向け努力して欲しいとメッセージをいただきました。たくさんの質問が出るなど、本校生徒の今後の人生に響く内容の講演となりました。早坂様、貴重なお話をありがとうございました。

これからも本校は諸先輩方が築いてきた伝統を守りながら、新しい時代を切り拓き地域に貢献できる人材を育成していきたいと思えます。地域の皆様、これからも本校の教育活動に御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。



文化祭

10月15日（金）、16日（土）に令和3年度黒高祭が開催されました。今年度のテーマは「青春謳歌～オレらの花を咲かせよう～」でした。昨年度同様、コロナ禍のため一般公開は行いませんでしたが、全校生徒が当日に向けひたむきに準備を続けてきたことで開催することができました。特に3年生にとっては最後の文化祭ということもあり、放課後まで残り試行錯誤しながら準備している様子が見られました。黒高祭期間中、中庭には全校生徒の願いをこめた短冊をつけた全校制作のアンブレラスカイが設置され、今年度の黒高祭に彩りを添えました。



15日（金）には創立記念式典ののちに黒高祭開会式が行われました。その後、一部教室でのリモートにて文化部同好会のPR動画の上映、クラスパフォーマンスが行われました。クラスパフォーマンスは生徒脚本のドラマやクラス全員で踊るダンスなど、生徒たちのアイデアとパワーが詰まったものでした。

16日（土）には宮城県出身・狩野英孝さんからのメッセージ動画がPTAからのサプライズで各教室にリモート配信されました。予想外の展開に各教室で驚きの声が上がりました。このような企画を準備・支援していただいたPTAの皆様には心より感謝申し上げます。その後、狩野さんからの言葉にあったように、生徒たちは文化部同好会の展示発表・有志生徒によるパフォーマンス・実行委員主催カラオケコンテストを最後まで思う存分謳歌しました。

今年度の黒高祭は随所に今の黒高生の「花」が咲き誇りました。来年度はまた違う「花」が咲くでしょう。これからも思い出に残る黒高祭を学校一丸となって作り上げていきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様、これからも本校の教育活動に御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。



表彰

◇環境技術科◇

高校生ものづくりコンテスト宮城県大会測量部門
優勝（東北大会出場）
環境技術科3年 佐藤 太紀、藤本 愛音、千葉 七海

第21回 環境甲子園

優秀賞
「老朽化の原因である水を絶つ！簡易点検と清掃活動により橋の長寿命化を図る」～地元の橋は自分たちが守る～
環境技術科 課題研究地域貢献班（環境技術科3年）
江本爽太、齋 仁哉、佐藤瑞紀、瀬戸心実、高橋杏夢、高橋紗彩、溝口 蘭

◇サッカー部◇

令和3年度 第39回大崎地区高等学校サッカー選手権大会
第3位

◇美術部◇

令和3年度 第38回泉・黒川地区高等学校美術展
奨励賞 異空間 3年 大沼 新季
14：55 3年 小川 憂那
お絵かき 2年 高橋 未香
めうつり 2年 長南妃奈乃
ボケ防止 1年 小林 美友

◇書道部◇

第69回全国小中高児童生徒 川開書道展
準大賞：2年 鈴木 双葉
準大賞：2年 瀬戸 美咲

図書委員会

図書委員32名は、毎日のカウンター当番のほか、季節ごとの図書室の装飾や図書委員会だよりの発行など、読書や図書室利用の促進を目指して活動しています。秋は図書室をハロウィン仕立てに装飾し、読書週間が始まるのにあわせて行ったイベントでは、布のしおりを製作して配布しました。進路活動や部活動など忙しい中でも、委員会活動にしっかり取り組んでいる様子が見えます。

